

# 糖尿病医療連携を通じた歯周疾患予防の推進

北多摩南部保健医療圏 多摩府中保健所

実施年度	開始 平成19年度、 終了(予定) 平成20年度
背景	当圏域では、成人期で進行した歯周疾患を持つ割合が東京都平均より高くなっている。歯周疾患は食生活等日常生活だけでなく、全身の健康に影響を及ぼすことが指摘されている。また、多くの原因がある中で、特に、糖尿病との関連が深いと言われているが、地域における状況は十分把握されていない。当圏域では糖尿病医療連携が行われているが、そのネットワークを活用し、地域ぐるみの対策を推進する。
目標	<u>全体計画(19~20年度)</u> 医療機関等を含め、地域ぐるみの歯周疾患予防を推進する <u>19年度の目標</u> 医療機関等に糖尿病と歯周疾患の関連を啓発する
事業内容	<u>計画全体の概要</u> 1 医療機関関係者等に糖尿病と歯周疾患の関連を啓発する 2 糖尿病と歯周疾患の関連を調査する <u>19年度実施分</u> 1 糖尿病と歯周疾患の関連について媒体を作成し、医療機関等に配布する 2 市の基本健診と歯周疾患検診のデータを活用して糖尿病と歯周疾患の関連を調査する
評価	国内外の研究データをベースに糖尿病と歯周疾患の関連についてのオリジナルの啓発媒体(糖尿病と歯周病—その密接な関係—)を3000部作成し、医療機関関係者、市健康課、老人保健施設等の保健師や栄養士に配布した。媒体作成に当たって、糖尿病医療連携検討会の委員から助言を受け、連携検討会のネットワークを活用して配布した。また、市の協力を得て基本健診と歯周疾患検診のデータ提供を受け、両健診の受診者のデータをつき合わせて、糖尿病と歯周疾患の関連を調査した。従来、歯科関係者以外に糖尿病と歯周疾患の関連を啓発したことはなく、今後歯周疾患予防の幅を広げるきっかけとなった。また、歯科保健行動を含めた糖尿病と歯周疾患の調査はいままで見られず、地域で啓発していく上で貴重なデータとなった。
問い合わせ先	多摩府中保健所 企画調整課 保健医療係 電話 042-362-2334 ファクシミリ 042-360-2144 E-mail S0000348@section.metro.tokyo.jp



# 糖尿病と歯周病

## —その密接な関係—

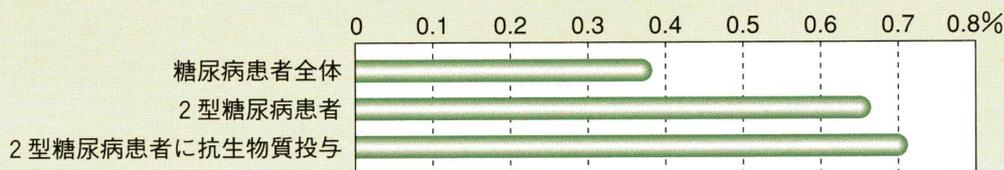
最近、糖尿病と歯周病の密接な関係が注目を集めています。糖尿病では歯周病にかかりやすく、また、歯周病の状態が悪いと血糖コントロールに悪影響を与えることが明らかになっています。

### 歯周病は糖尿病を悪化させる一因です

歯周病原菌の菌体表面のリポポリサッカライドがマクロファージに貪食された時にサイトカインの一種であるTNF- $\alpha$ が産生され、これがインスリンの活性を障害し、血糖値のコントロールを悪くすると言われています。糖尿病と歯周病が合併し、歯周病が重度な場合に糖尿病の予後が悪くなるという報告や、歯周病を治療すると糖尿病が軽快した報告があります。

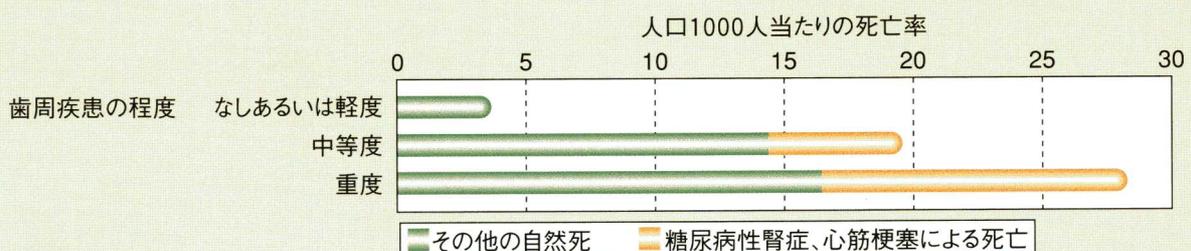
糖尿病の患者さんの経過が思わしくない時に、口の中を診て歯肉の腫れや出血、口臭が気になる場合には、かかりつけの歯科医で診てもらおうように勧めてくださるようお願いします。

■ 歯周病治療によるHbA1cの減少率 (J.Dent.Res.Vol.84 2005 p1154 Janket他)



定期的な歯石除去等歯周病治療を継続的に受けることはHbA1cをコントロールする有効な方法です。抗生物質投与では経口血糖降下薬投与と同等の効果があります。

■ 糖尿病患者の死亡率 (Diabetes Care Vol.28 2005 p29 Saremi他)



糖尿病患者で歯周病が進行すると死亡率が大幅に増大し、糖尿病性腎症、心筋梗塞が原因で死亡するケースでは歯周病との関わりが死亡率の約4割になります。